

# アニマル・トラッキング

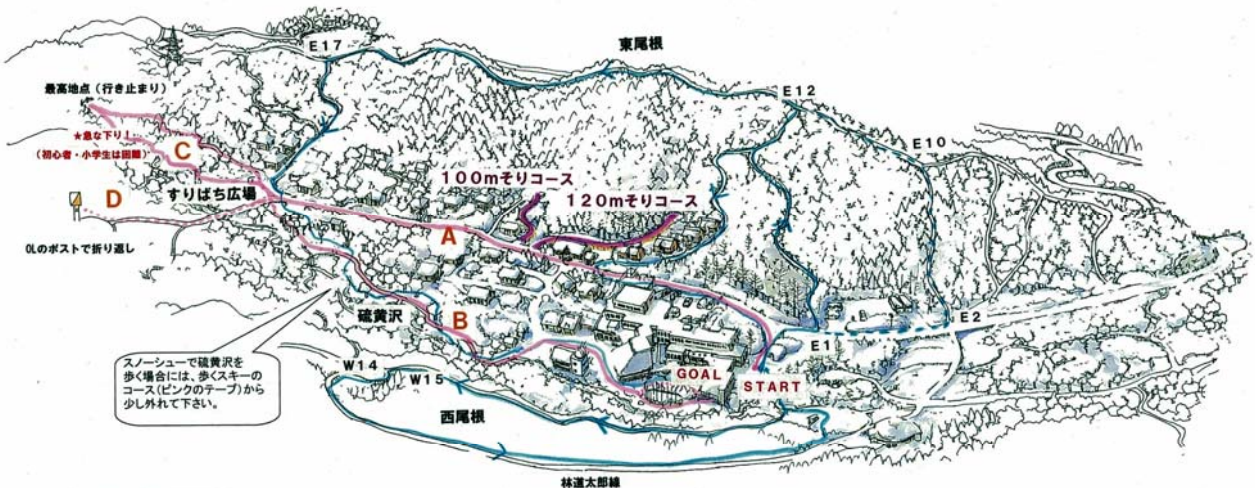
雪の上には、動物が歩いた足跡や食事をした跡、糞（ふん）などが残ります。残された痕跡から、どういう動物が、どのような行動をしたかなど、その動物の生態を読み取ることを「アニマル・トラッキング」といいます。当自然の家では、12月～3月上旬にかけて、散策コース内でのアニマル・トラッキングが可能です。スノーシューなどをはいて行くと普段入れないようなところにも入ることができます。

対象	小学校中学年以上
所用時間	1時間～2時間

## 活動場所

### 歩くスキー、スノーシュー・かんじき、そりコース図

そりコース  
 歩くスキーコース  
 (ピンクのテープが目印です)  
 スノーシュー・かんじきコース



A往復	基本・初心者コース
A→B (すりばち広場から碓氷沢)	一般コース
A→C→B	上級コース
A→D→B	バリエーションコース



国立信州高遠青少年自然の家

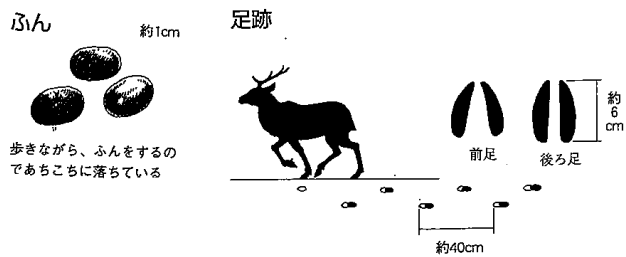
エリア内歩くスキー・スノーシューコース・環境未来センター周辺

準備

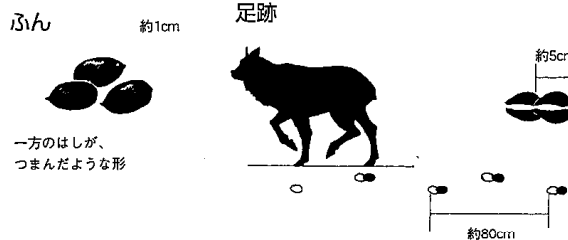
- ①事務室に実施する旨を連絡し、職員の指示により準備する。
- ②スノーシュー（木曽前倉庫）、双眼鏡（事務室）、手袋、防寒具など（個人で用意）を準備する。靴は靴下が濡れないよう靴であればどんなものでも大丈夫。サイズの合っていないものは避ける。
- ③準備運動をする。
- ④エリア内散策コースで、探す場所を決め、グループで動物の足跡や糞、食事跡などを探す。

●雪上に見られる動物の糞ならびに足跡

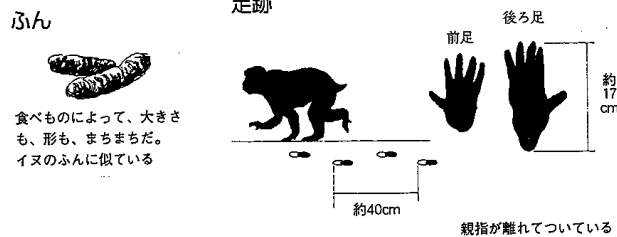
●ニホンジカ くうていもく 偶蹄目 シカ科



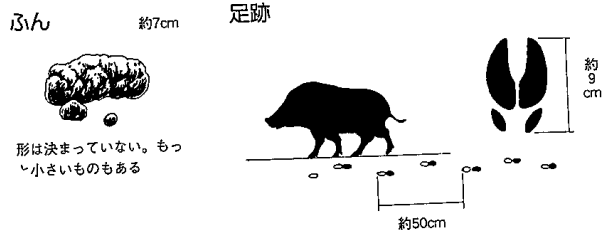
●ニホンカモシカ くうていもく 偶蹄目 ウシ科



●ニホンザル れいしょうもく 霊長目 オナガザル科



●ニホンイノシシ くうていもく 偶蹄目 イノシシ科

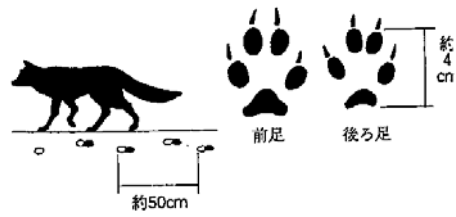


●キツネ 食肉目 イヌ科  
 足跡

ふん 約5cm



片方の先が細長く  
とがっている

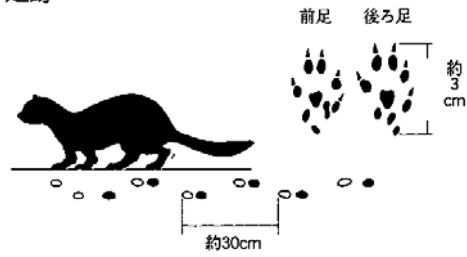


●イタチ 食肉目 イタチ科  
 足跡

ふん 約2cm



決まった場所  
のためふんをする



●タヌキ 食肉目 イヌ科  
 タヌキの足跡

ふん 約6cm

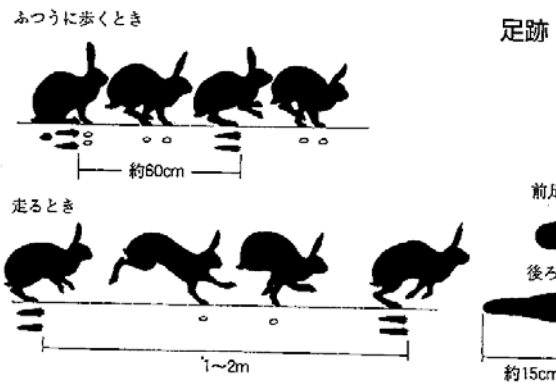


●ノウサギ ウサギ目 ウサギ科

ふん 約1cm



丸くころころしている



<p>留意点</p>	<p>① 調査活動は、スノーシューを着用し、雪上の歩き方を体験した上でコースに出る。コースは、雪で滑りやすくなっているため、十分に十分留意する。</p> <p>② 足跡や糞が見つからないとあって、その動物が生息していないということにはならない旨を予め話しておく。</p> <p>③ 足跡や糞を発見したら、その近くに目印を立て、声をかけてみんなに知らせるようにし、周囲を踏み荒らさないように注意させる。</p> <p>④ 生息が確認されている上記の動物については、写真等で生息の可能性を紹介するのもよい。</p> <p>⑤ 動物の判定にあたっては、足跡や糞の特徴に着目し絞り込む。不明瞭な場合は、「〇〇らしい」程度にとどめ、活動終了後、図鑑等で調べるように勧める。</p>
<p>展開例</p>	<p>所要時間（2時間）</p> <p>① 当自然の家周辺に生息していると思われる動物名を予測する。（10分）</p> <p>② 野生動物の中には夜行性のものも多く、直接観察できないため、生息を確かめるための証拠となりそうなものについて発表しあう。（10分）</p> <p>③ コースに出て調査活動を行い、発見した足跡、糞、食事跡、周囲の環境などを記録し、動物名を予想する。（1時間15分）</p> <p>④ 学習のまとめをする。（剥製・図鑑などで確認する。）（25分）</p>